

あ た し ん ち

毎月第4土曜日
開催



開催場所の老人憩の家が近づいて来ると「さあ！流れるよお」「まって～」「うまいことすくってなあ～」とにぎやかな声が聞こえてきました。とても陽射しの強い日でしたが、そうめん流しに全力で挑む大人とこどもの姿。
😊 こどもたちに涼を味わってもらおうと外では流しそうめん。室内ではかき氷、ベランダではスーパーボールすくいが用意されていました。あと、大好きな綿菓子も… 歓声をあげたり、できていく様子をじ～っとみつめていたり…。 楽しい1日になりそうですね。

みてえ～。
こんなんとれたあ～。

い～なあ！

おっきな
わたがし
できるかなあ？

なにいろのみつを
かけようかなあ？





本日のメニュー

テーブル席と座敷席が用意されているので、参加者はすきなところで食事と会話をゆっくりと楽しんでいます。毎月参加する高齢者は「ひざ痛いから、いす席があっていいわ」と嬉しそう…。「ここへ来たら元気が出るねん！」とも…。

小さなお皿にはこどもたちの大好きな肉巻きおにぎりが存在感を増しています。(笑)

娘とゆっくりゆっくりと食べられる感じがします。私たちのくつろぎの場でもあります。



パパも
いっしょに
きたよ！



授乳室も
あるから
安心

ここは、ゆっくりと食事
できる場所でもあり、子
育て情報の交流の場でも
あるんです。

「こちらへお願いしま〜す」と受付へ行くと大人には水色、こどもには赤のテープがついた割り箸がわたされます。食事をオーダーする時のちょっとしたスタッフの工夫だそうです。

授乳室はいつもは麻雀を楽しむ部屋ですが、老人憩の家のご厚意でこども食堂のためにと提供してくださってるとのこと。

こども食堂の運営者お二人はこどもの野球からのママ友。高齢者ふれあいサロン等をやってきたが、コロナ禍以降、人と人の関係性が希薄になってきたこと、子育てのSNSにはネガティブな情報があふれている。これではダメだと思い、食事をしながらくつろげる場を…多世代で交流できる場を…と思いこども食堂をたちあげた。

今では、ボランティアで参加したスタッフのつながりがどんどんと増えていってる。みんながくつろぎ笑顔になれる場をつくっていききたい。将来的には、週1度、開催し多世代が集まれるファミリーむけの食堂にしていきたいと運営者の夢は広がっていってます。



あとがき

“あたしんち”の名前の由来は自分の家のようにゆっくりとできるようにという思いからだそうです。取材者の頭の中には運動会で流れる“威風堂々”の♪来てきてあたしんちの歌がずっとまわっていました。ほんとうにあたしんちのみんなをつなぐ輪がどんどんと広がっていけばいいなと思いました。